

入門 WS 1-5 《シェルターとモニュメント》WS メニュー

建築には大きく分けて2つの役割があります。1つ目は、地震や火事などから人の命を守る「シェルター」としての役割です。現代では災害に強く安全であることが強く求められています。2つ目は、人々の意識や歴史を目に見える形で表す「モニュメント」としての役割です。例えば東京都庁舎は、都の行政を行う場所であると同時に、その形やデザインが東京という都市の歴史性や時代性、技術力を象徴しています。ヨーロッパの教会は人々が集まる場所であると同時に、宗教的な一体感や神聖さを表し、企業の本社ビルは働く場であると同時に、その会社の力や信頼感を社会に示しています。このように建築は、命を守る「機能」と、人の意識や社会の価値を表す「象徴」がひとつになった存在であり、その両方を理解することで、これからの多様で意味のある建築を考えられるようになります。

そこで、住吉の長屋（安藤忠雄設計）の建物を題材に、「窓」や「屋根」等を加えて象徴（モニュメント）的な建物にしてください。

シェルターの例

カッパドキア／トルコ

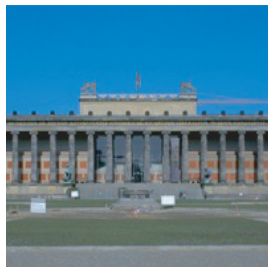


竪穴式住居／日本・岡山県



モニュメントの例

アルテス・ムゼウム／ドイツ



東京都庁／日本・東京



日本の伝統的な屋根や窓の装飾を付け足し象徴（モニュメント）的な建物にしました。

